

令和6年度第2回公立大学評価委員会 議事録

【日時】令和6年（2024年）8月20日（火）10:00～11:00

【場所】熊本県庁防災センター 310、311会議室

【議題】（1）令和5年度（2023年度）業務実績評価について
（2）第3期中期目標の期間における業務実績評価について

【出席者】委員長 猪股 裕紀洋 氏

委員 末松 直洋 氏

委員 園田 舞 氏

委員 中本 秀二 氏

※中本委員はオンライン参加

（事務局）総務部 総務私学局 局長 枝國 智子

県政情報文書課 課長 坂本 久敏、審議員 福田 晶子、

主幹 山部 英亮、参事 徳永 千晶

1 令和5年度（2023年度）業務実績評価について

（1）事務局説明

資料1—1により、前回委員会及び委員会後に寄せられた意見や質問、事務局案について説明。その後、1—2、1—3について説明、最終的な業務実績評価書としての1—4について説明。

（2）審議概要

（猪股委員長）

報告書全体は膨大なものだが、前回の委員会でのヒアリングを受けて修正された5項目について、委員の方から御意見いただきたい。

①計画番号6 「英語を含む外国語教育の改善等」（評価を「課題」から「着実」へ変更）
（中本委員）

- ・ 英米文学科のTOEFLの実績が悪かったところだけが、大学側の自己評価でB評価になっていたという点。実際の大学側の取組として、TOEICに重点をシフトし、注力したというのが令和5年度の実績。
- ・ TOEFLの受験者も600名に達したとともに、550点を達成した人数が130名を超える等、前年度からかなり効果が出ている

- この点を評価し、「課題」から「着実」へ評価を変更する案を出させていただいた。
- また、この後の審議で、6年間の最終評価と整合性を図る必要がある。

（猪股委員長）

- この点に関して思うのは、最初の中期目標の設定の仕方による部分が多い。
- 数値目標で設定することが多いが、6年間は結構長い。その間に社会情勢や大学側の基本的な姿勢の変化があるかもしれない。
- しかし、数値目標は決めてしまうと、達成できない＝アウトになってしまって、難しい点がある。
- 大学としては定量的な評価に従って自主評価をされたのだろうが、この委員会では、ごく最近のアップデート状況も見据えて、定性的な視点から、中本委員御指摘のように、昨年度を「着実」に変えた方がいいのではないかなと思うが、特に御意見等はないか。

→意見なし

②計画番号13「教育活動の実施体制の整備」（総合管理学部における専攻制導入準備等に係る追記）

（猪股委員長）

- 事務局の方で、令和6年度の変更を見据えて、文言を追加された。
- 5年度だけの評価なのか、その流れの中で今年度もあり、それも含めて5年度の全体的な評価中に含めるのかどうか、という点になるかなと思う。
- 非常に顕著な今年度の変化でもあり、それは元々のベースに基づくものであらうと思われるため、評価は「着実」で変わらないが、文言を追加して良いと思うがよろしいか。

→意見なし

③計画番号19「地域課題の解決に貢献する研究の推進」（評価に「注目」を追加）

（猪股委員長）

- 次も、中本委員の御指摘で追加された項目。
- 県立大学が、顕著にその存在意義を発揮している部分だと思う。

（中本委員）

- 前回のヒアリングの際、学長から日経グローバルでのランキング発表もあり、「注目」を追加したらいいのではないかと思います、提案した。
- また、本文の方も、事務局修正案を確認したが、適切な表現になっていると思う。

（猪股委員長）

- 特にこの518大学中10位というのは、非常に顕著な存在意義を示しており、「注目」というのは、まさに言葉どおりに値すると思う。よろしいか。

→意見なし

④計画番号26 「他大学・研究機関等と連携した研究活動の推進」

（熊本大学等と連携したグローバルDX人材育成に係る取組の追記）

（猪股委員長）

- 大学のコンソーシアム形成によって文科省事業に採択されていることは、非常に大きなことであるため、文言を追加して、よりその実態を明確にさせていただきたい、ということだと思うが、（文言追加について）何か御意見があるか。

→意見なし

⑤計画番号45 「情報公開、情報発信」（評価を「課題」から「着実」へ変更）

（猪股委員長）

- 立場上かもしれないが、メディアで、県立大学という名前をすごく多く見られたとずっと感じていた。もちろん、色々な広報誌が送られてきているが、それにとどまらず、いわゆる一般のメディアでたくさん報道されており、決して悪い報道ではなかった。
- 前回ヒアリングの結果も踏まえてだと思うが、YouTubeやSNSという言葉も加えて、これは敢えて「着実」ということにしてもいいのではないかと思った次第。
- ちなみに、YouTubeやSNSは、大学のホームページとリンクしているのか。
- 色々なレベルのものがあるので、何でもかんでもリンクを貼る必要はないかもしれないが、ある程度大学でお墨付きを出して、リンクを貼ると良いのではないか。

（事務局）

- 公のものは、リンクを貼っている。
- 大学本体はもちろん、地域・研究連携センターもYouTubeチャンネルを持っている。

（猪股委員長）

- メディアに出れば、調べる方が結構いるだろうから、SNS等へのリンクも大事だと思う。

◇その他

（猪股委員長）

- 5点に関しては、委員の御賛同が得られたということで、変更を確定したいと思う。
- その他、何か変更、あるいは、御意見等ないか。

（園田委員）

- 意見ということではないが、先程話していたリンクは、白亜祭のインスタのリンク。

（事務局）

- 県立大学として、YouTubeのほか、Xにも公式のアカウントを有している。白亜祭はInstagramのみのようだが、情報を発信している模様。
- なお、大学のホームページについて、地域・研究連携センターのページにたどり着くのが難しかったと記憶している。更に情報発信を強化するよう、大学に伝える。

（園田委員）

- この前、学長が、あさりのことで小学生と呼ばれていたのをテレビで拝見した。テレビCMもすごく印象に残っている。

（末松委員）

- 「教育活動の実施体制の整備」で、アップル社が主催する学生向けのアプリコンテストで2人が入賞したことは、すごいことだなと思っている。実際、このアプリは実用化されているのか。
- 19番目の「地域課題の解決に貢献する研究の推進」ということで、緑の流域治水、令和2年7月豪雨があった中で、そのことについて研究されていることが、518大学中10位となっているという、これもまた素晴らしい成果だが、なかなか、県民に、こういう情報が届きにくい。先ほど話のあったSNS等で、ぜひ、こういう素晴らしい成果を発信すれば、県立大学のさらなる発展に繋がるのではないか。

（猪股委員長）

- 本当にそう思う。このアップルのアプリは、このあとどうなっていくのか、という情報はあるのか。

（事務局）

- 今の時点で、把握していない。
- このコンテストは、世界各国の学生や若者が参加するコンテスト。それに県立大学から2人選ばれたのは本当に素晴らしいこと。
- そのうちの1人は、CEOのティム・クックさんと直接オンラインで話す機会も与えられた。大変頑張った結果が表れたものと思う。
- 1人は日本の文化を伝えるようなゲームのアプリ、もう1人は日本の紋様を作るアプリを作り、表彰されたとのこと。
- これらが今、実用的に使われているかどうかは、フォローしていない。総合管理学部の学生であり、理工系の学生と少し違う視点、社会問題を解決するためにアプリ等で何かできないか、という視点から開発した、と2人は話していた。

（猪股委員長）

- おそらく今後も直接的な国際交流があると思うが、そういうときに、積極的にこれらの成果を海外に発信していくのは、とても良いことではないかと思った次第。ほかに御意見等はないか。

（園田委員）

- 「アップル社が主催する学生向けアプリ開発コンテスト」という部分について、正式な名前で書いた方が良いのではないか。

（事務局）

- 修正する。

（猪股委員長）

- 大体御意見も出たところで、令和5年度の業務実績評価について、これまでの審議の結果を踏まえてまとめたいと思う。
- 最終的な文言について、細かい修正が入るかもしれないが、私に御一任いただければと思うが問題ないか。

→問題なし

- それでは、令和5年度の業務実績評価について、本日の審議結果を反映させた最終案を事務局が作成し、私の方でそれを確認するという形で進めさせていただく。事務局は、ただいまの決定に基づき、進めていただきたい。

2 第3期中期目標の期間における業務実績評価について

（1）事務局説明

資料2—1により、前回委員会及び委員会御に寄せられた意見や質問、事務局案について説明。その後、2—2、2—3について説明、最終的な業務実績評価書としての2—4について説明。

（2）審議概要

①計画番号26 「共同研究・受託研究の継続的な実施」

（熊本大学等と連携したグローバルDX人材育成等事業の追記）

（猪股委員長）

- 令和4年度に熊本大学との、大学間連携事業が文科省補助事業に採択されたという文言について、これは重要なポイントなので、評価だけではなく中期目標の中の報告書コメントに追加した方がいいのではないか、ということで、私としてはそのとおりだなと思うが、委員から御意見あればお願いしたい。

→意見なし

②計画番号28 「海外留学・研修メニューの充実」（評価を「3」から「2」へ変更）

（猪股委員長）

- 年度評価の中で見たところ、非常にたくさんのいろんな工夫、仕掛けをされていて、これから、飛躍的に展開されるのではないかという期待を抱かせる部分だが、コロナ禍で交流という点では、難しい期間が3年ほど続いた。
- この項目についても数値目標に縛られると、なかなかしんどいところがあるが、これをそのまま、コロナの影響を考えつつも、少し悪い評価にするのはちょっとどうか、と思ったのでコメントをさせていただいた。これに関して御意見あるか。

（園田委員）

- 評価に連動してだが、1年に1度、英語英米文学科の学生の方にアンケート実施、と記載があるが、このアンケートを通して、満足に学生生活を過ごせたという結果がきているのか。

（猪股委員長）

- 学生の視点から、学生からの評価、ということにはなるかもしれないが、いかがか。結果を今すぐ提示することは難しいと思うが。

（事務局）

- 把握していない。後ほど、メールで回答させていただく。

（猪股委員長）

- 確かに学生からの視点は大事。
- 私達は、大学の方で記載された文言から評価するという形だが、大学の中にいる学生からどう見られているのか、という視点も大事。
- 仕掛けだけで中身がないんじゃないかと言われると、ちょっと厳しい評価になるが、大学として行ってきた色々な努力を評価することになると思う。

（園田委員）

- 実際、利用される学生は、いくら手を尽くされていても、いろんな意見を言われる面もあるかと思う。どのようなことを大学としてされたかというところが評価されると思う。

（猪股委員長）

- この件に関して、いかがか。評価を「3」から「2」に変えるというのは甘いのでは、とか。

（中本委員）

- コロナの影響を勘案するところは、考え方次第。「2」に変更してもいいと思っているが、コロナの影響のところの表現が、最後のパラグラフに書いてあり、「一方、海外留学、研修等への派遣学生数は、コロナ禍より、指標平均130名を下回ったため、中期目標・中期計画が十分に達成されていないと評価する。」になっている表現は、変えたほうがいいのではないか。「平均を下回っているため、中期目標・中期計画は達成していないものの、コロナ禍の影響を鑑み、評価「2」とする。」のような言い回し変えるのはどうか。

（猪股委員長）

- そのとおりで、この記載では、「3」が「2」に変わっただけでは、アンバランスになってしまう。
- ただ、この点だけコロナを無視するのか、という話になってくると、他にもコロナが影響したところは、おそらくたくさんあると思われるし、コロナがあろうと実施しないといけない部分もあるし、コロナのために仕方がなかったという部分もあると思われるが、特に交流を主目的にする場合には、コロナは、実際に非常

に大きな障害だったので、今回、その点を考慮して変えてもいいと、私的には思った次第。

- ここの評価委員会のコメントは、もし「2」に変えるのであれば、即した内容に変えるということで、御承認いただけるか。

→異議なし

- 変更点は以上だが、その他の変更点、あるいは御意見、何かコメント、その他、ないか。

→意見なし

- 中期目標期間は、今年度からまた6年間が始まっており、なかなか長い期間なので、その間に社会情勢も変わるし、目標は決まっているが、その目標にそぐわない事例というのもし出てくる。その点において、数値目標というのは非常に難しいと思われる。

- それでは、資料の2－3の中期目標期間の業務実績評価書については、今まで議論いただいたことも含めて修正をする、ということでまとめさせていただくが、よろしいか。

→異議なし

- 文言の細かい調整は、先ほどと同じように、事務局と私と相談しながら進めるということで、御一任いただきたいが、よろしいか。

→異議なし

- 第3期中期目標期間における業務実績評価については、本日の審議の結果を反映させた最終案を事務局に作成いただき、私の方でそれを確認するという形で進めさせていただく。

- 事務局の方でも作業を進めていただくようお願いする。

以上